

令和7年度の総合水産試験場の取組について

長崎県総合水産試験場 企画開発推進室

はじめに

皆様方には日頃から総合水産試験場が実施する各種業務に対し、ご支援・ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

総合水産試験場では「長崎県水産業振興基本計画」に沿って実施する具体的施策を技術的側面から推進するために、資源管理による水産資源の持続的利用、養殖業の成長産業化、水産加工業の育成・強化等に関する諸課題について、試験研究を行っています。

また、「開かれた試験場」として、最新の設備を広く開放し、水産業界の要望に即した試験、産学官による共同研究等を積極的に行っています。

ここでは、本年度の主な取組を紹介いたします。

主な事業の紹介

新規事業

○増殖場を活用した重要資源の放流効果向上事業

予算額…4,343千円

重要資源の早期回復を図るため、増殖場等を活用した種苗放流技術の開発と放流効果の把握を行うとともに、放流実施機関に開発技術を普及することにより資源の維持・増大を図り、持続可能な沿岸漁業の実現を目指します。

○長崎シン水産魅力土産の創出プロジェクト研究

予算額…6,863千円

本県水産加工業において、これまであまり生産されてこなかった常温流通性、即食性の高い水産加工品の生産を後押しするため、加熱・乾燥による新たな加工技術を開発します。

○IoT活用有害プランクトン対策事業

予算額…5,346千円

有害プランクトン等に起因する養殖生物の斃死を防止・抑制するため、IoTを活用して、

環境調査、有害赤潮の動態・消長・移流予測と検出・防除法の検討等を行います。また、

貝毒発生監視等にも取り組みます。

継続事業

○沿岸漁業育成支援事業

予算額…8,911千円

資源評価の高度化に資するモニタリング技術開発と操業効率化に資する技術開発や調査を行うとともに、スマート技術や漁海況情報を活用できる漁業者を育成し、持続可能な沿岸漁業の実現を目指します。

○トラフグ養殖収益性向上のための育種研究事業

予算額…7,757千円

全国生産量一位の地位を占めるトラフグ養殖の収益性向上を目指し、育種技術による優良種苗の開発と普及を図ります。

○長崎県養殖特産種創出のための生産技術開発事業

予算額：6,406千円

養殖業の収益向上と経営安定を図るため、既存の主要養殖対象種に加えて新たな養殖特産種として、高成長や高水温耐性等が期待できるウスバハギ及びサバ類の種苗生産技術を開発します。

○真珠養殖業経営安定化対策事業

予算額：2,053千円

アコヤガイ稚貝の大量へい死を軽減するため、真珠業界等と連携して、技術開発を行います。

○環境変化に対応した貝類養殖技術の開発・向上事業

予算額：1,945千円

県内の主要な貝類養殖種（カキ類、アサリ）について、新しい養殖技術開発、新技術の応用及び現場導入により生産性の向上を図ります。

○気候変動対応の藻類増養殖技術開発

予算額：3,917千円

温暖化の影響による藻場や藻類養殖への影響を把握し、気候変動に対応した藻場造成技術の開発及び藻類養殖技術の改良・開発を行います。

○多様なニーズに対応した水産加工品創出技術支援事業

予算額：2,060千円

オープンラボを活用し、本県水産加工業者が行う試作に対する指導・助言、現地研修会での技術指導などを通し、社会経済の変動に伴い多様化する消費者ニーズに対応した水産加工品の創出を支援します。

○売れる美味・新食感水産加工技術の開発

予算額：2,318千円

長崎県で四季折々に漁獲される旬の魚や主要な養殖魚を用い、マーケティングの視点にたった美味しさと見栄えを兼ね備えた冷凍刺身、及びこれまでとは異なる食感のすり身等の製造に必要な加工技術を産学の協力のもと開発します。

○沖合域における広域流動モデル技術の活用による水産分野の生産性向上

予算額：8,631千円

流動モデルによる有害赤潮の広域移流予測・検出・閲覧システムを開発し、有害赤潮の養殖場への流入を予測・検出し、迅速な対策により、赤潮漁業被害を抑制します。開発したシステムは流れ

藻等の移流予測にも応用します。

○養殖業の成長産業化にかかる技術開発事業

予算額：5,983千円

養殖業の成長産業化を推進するため、国内外販売で競争力のある新魚種の養殖技術開発、生産性の向上等に繋がるスマート養殖技術開発及び収益性を悪化させる疾病に対する技術開発を行います。

この他、「有明海特産魚介類生息環境調査」、「有明海漁業振興技術開発事業」等についても水産部関係各課と連携して取り組んでいます。

水産技術研究所及び長崎大学との連携

総合水産試験場に隣接する「国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所」及び「長崎大学海洋未来イノベーション」機構環境東シナ海環境資源研究センター」との連携強化を図り、共同研究に取り組む他、漁業者との意見交換会や広く一般に公開する「ながさき水産科学フェア」を共同開催します。

情報の発信

○研修会の開催

試験研究の取組内容について、漁業者を始めとする関係する方々の理解と関心を深めて頂くため、各地域で研究成果の紹介や意見交換を行う研修会「出前水試」を開催します。

○漁海況情報

漁業活動を支援するため、県庁ホームページにおいて「漁海況週報」、「漁海況通信」の最新情報及びバックナンバーを掲載するとともに、簡易版の海況予測情報も公開しています。また、これらの情報は市町や漁協に対して電子メール等により配信することで、漁業者の皆様が目に触れる機会を増やすよう努めています。

○技術情報

施設紹介、研究報告、情報サービス、試験研究情報等を県庁ホームページで公表しています。また、魚のさばき方等も掲載しています。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

おわりに

水産業の振興や試験研究に関して、皆様からの

ご意見やご要望等がございましたら、総合水産試験場企画開発推進室（095・850・6294）もしくは、最寄りの水産業普及指導センターまで、ご連絡頂きますようお願いいたします。

（企画開発推進室 松田 正彦）